

『黄金分割』から見た株価の見方 (第 21 回)

kuwayama

平成 18 年 1 月 20 日(金)(15,696 円)

昨年末、株式市場のあまりの活況で、「東証」は「信用取引規制の準備に入った」と新聞は伝えた。昨年末の 12/29 の 16,445 円高値以来、今年に入り 5 回も 16,500 円に挑戦したが、「規制」は出ずじまい。そして 1/13 の 16,490 円 が最高値で上に抜けなかった。確かに相場は休みたがっていた。そこへ 1/16、「ライブドア」ショックが株式市場を直撃した。1/18 の最安値は 15,059 円 である。高値から 1,430 円の下げになる。下げ幅の半値戻しは 15,774 円、1/20 ザラ場高値 15,875 円で達成した事になる。しかし、突然の大きな下落相場は多くの「投資家」に甚大な被害を与えたと見られ、体力の回復には時間が必要と思われる。普通「急落相場」は一番底を形成した後に 2 番底 (3 番底) が来るものである。ゴムマリを目の高さから落とすとバウンドして戻るが、また下落する。「黄金分割」では 16,500 円 (16,490.27 円) を高値にした下げの第一波動は 14,400 円となる (13,400 円) (ただし、 まで下がらない場合はその相場は強い相場であり、戻り相場が期待できる。) 当面 15,000 円が下値抵抗線と見るが、しばらく下値を探る展開になるか、15,000 ~ 16,000 円の戻り売り相場かボックス相場と見ている。もし 15,000 円を割る様だと調整は長引く。大きなリスク要因としては「原油価格」(55.4 ドル安値 66.8 ドル(達成) 72.5 ドル、 78.2 ドル) が 68 ~ 70 ドル挑戦しそうな動きになって来た。昨日 68.8 ドルである。70 ドル乗せれば の 72.5 ドルが「黄金分割」の示すところとなる。地合いが悪くなると悪材料が重なるものだ。

NY (10667.39 ドル - 213.32 ドル) や Nasdaq (2247.70 - 54.11) も厳しい下げに転換して来た。日米とも基調は転換して来たかに見える。私の基本的な見方は 最安値 10,770 円 13,000 円、 14,200 円、 15,300 円、 17,500 円 が「黄金分割」の見方であるが、一先ず 16,500 円は大きな抵抗ラインになった。(菊池極東証券社長の中、日経夕刊 12/5 号) しかし相場と言うものはこの様な大幅な下げがないと上がらないものである。この下げが 1 ~ 2 ヶ月後 (?) に 16,500 円を抜いて、大きく上昇する力になるものである。今週から 2 月はじめにかけて主要なハイテク企業の決算が出る。おそらく企業業績の上方修正や過去最高の更新など、株価に好影響の材料が出るものと期待している。為替は 121 円から 7 円の円高で 114 円割れまで入ったが、日米金利差 4% は如何ともしがたい。 102 円 123 円 (134 円) の見方は変わらない。当面 114 円 ~ 118 円のボックス相場と見る。しかしこの 7 円の円高が次の円安の力になる。ドル債購入も根強いものがある。先月のコラム「第 20 回」で「原油」の見方が「黄金分割」で 55.4 ドル 66.8 ドルでピタリの中している。為替も「黄金分割」で見ると 123 円を変えたくない。

さて個別銘柄の検討に入ろう。

住金 (5405) 1/20(443 円)・・・1/5 487 円高値 425 円、 394 円 (ピタリ) 362 円
394 円 1/18 安値 475 円 (当面 450 円中心のもみ合いと見る) 516 円、 556 円
三菱商事 (8058) 1/20(2,595 円)・・・1/5 2,760 円高値 2,420 円、 2,240 円、

2,305 円 1/18 安値 2,780 円、 3,010 円、(第一波動は 2,760 円新値抜け)
三菱 UFJ (8306) 1/20(152 万円)・・・12/14 **170 万円高値** **149 万円**、 138 万円
146 万円 1/18 安値 176 万円、 191 万円(当面 170 万円が上値の抵抗ライン)
トヨタ (7203) 1/20(5,990 円)・・・12/30 **6,180 円高値** 5,400 円
5,600 円 1/18 安値 6,800 円(トヨタの場合は 4,950 円 5,970 円、 6,480 円、
6,990 円の波動を見た方が良い。)
キャノン (7751) 1/20 7,070 円・・・1/16 **7,320 円高値** 6,400 円
6,850 円 1/18 安値 8,300 円(キャノンも 5,940 円安値 7,040 円、 7,600 円、
8,700 円の波動である。)
武田 (4502) 1/20(6,350 円)・・・12/8 **6,880 円高値** 6,010 円
6,170 円 1/17 安値 7,440 円(当面 6,500 円中心のもみ合いと見る。)
千代建 (6366) 1/20(2,700 円)・・・1/4 **2,950 円高値** 2,590 円、 **2,400 円** 2,210 円
2,355 円 1/18 安値 **2,840 円**(1/19 **2,810 円高値**)、 3,080 円、 3,340 円
松下 (6752) 1/20(2,455 円)・・・1/13 **2,610 円高値** **2,280 円**、 2,120 円
2,300 円 1/18 安値 2,780 円(松下は 1,900 円安値 2,290 円、 2,490 円、 2,680
円、 3,070 円の波動と見る。)
富士通 (6702) 1/20(1,044 円)・・・1/17 **1,073 円高値** **940 円**、 870 円
917 円 1/18 安値 1,110 円、 1,210 円、 1,300 円(最安値 727 円 1,180 円)
ソニー (6758) 1/20(5,020 円)・・・1/12 **5,210 円高値** 4,550 円、 4,220 円
4,710 円 1/18 安値 5,680 円(ソニーの場合は最安値 3,710 円 4,480 円、 4,860
円、 5,240 円、 6,000 円の波動と見る。)
野村 (8604) 1/20 2,130 円・・・1/5 **2,350 円高値** 2,050 円、 **1,900 円**、 1,750 円
1,960 円 1/18 安値 2,370 円、(野村の場合も 1,623 円安値 1,960 円、 2,120
円、 2,290 円、 2,620 円の波動で見たい。)
ヤフー (4689) 1/20(15.9 万円)・・・12/30 **19 万円高値** 16.7 万円、 15.5 万円、 **14.3**
万円、 11.8 万円(3 月末 1:2 分割をするかどうか?、下値の確認をしたい。)
13.7 万円 1/18 安値 16.6 万円、(**17.3 万円 1/20 高値**) 18.0 万円、 19.4 万円
ソフトバンク (9984) 1/20(3,650 円)・・・12/30 **5,220 円高値** 4,570 円、 4,230 円、
3,900 円、 **3,230 円**(1/18 取引停止、500 円ストップ安が無ければの可能性?)
3,340 円 1/18 安値 **4,030 円**(1/20 **3,980 円高値**)、 4,370 円(当面信用買残の減
少具合を見たい。下値の確認、二番底、戻り売りをこなして 4,000 円台を回復できる
かどうか。の 4,030 円に 50 円未達が気になる。時間がかかりそうだ。)
ファーストリテイ (9983) 1/20 9,630 円・・・12/29 **12,480 円高値** 10,900 円、 10,100
円、 **9,300 円**(7,700 円)
9,360 円 1/18 安値 11,200 円(高値からの下げがきついため、当面 9,300 円台で下
値が入ったかどうか確認をしたい。)

楽天 (4755) 1/20(96,100 円)・・・1/4 **11.9 万円高値** 10.5 万円、 9.6 万円、
 9.0 万円 7.4 万円
 8.85 万円 1/18 安値 **10.7 万円** (**10.8 万円 1/20 高値**) 11.7 万円
 ワコム (6727) 1/20(24.1 万円)・・・12/29 **27.5 万円高値** 24.0 万円、 22.3 万円、
 20.5 万円、 17.0 万円
 20.2 万円 1/18 安値 **24.3 万円** (**25.3 万円 1/20 高値**) 26.5 万円、 28.6 万円

解説：以上は「**黄金分割**」から見た見方であり、投資判断は「**自己責任**」をお願いします。

(内の数字は「黄金比率」の値上り、値下りの順番を示す。**赤字の高値**、**赤字の高値**、**赤字の高値** は値下りの波動、**青字の安値**、**青字の安値**、**青字の安値** は値上りの波動を示している。) 12 月末から 1 月はじめに高値をつけた銘柄が多いので「高値」からの「値下り」のメドが「黄金分割」で予測できます。また 1 月 18 日の急落時の最安値を基点にした戻り相場を「黄金分割」の波動で捉えて見ました。(1/18 が最安値かどうかは分かりませんが、一先ず安値として見ています。個々の銘柄も安値をつけていますが、二番底があるかもしれません。過去の調整場面でもその時の安値を起点にした上昇の「黄金分割」を見ました。今後の「相場」を見るうえで大きなヒントを与えてくれるものと思います。

「黄金分割」には時間の概念は入りません。 は 1.21%、 が 1.31%、 は 1.42%、そして が 1.618%で「黄金比率」が完成です。 をクリアする事が「相場」の前提です。

までか、 まで上がるか、 を形成するかは神様しかわかりませんが、各人の判断です。前 18,19,20 回の「コラム」を検証して見て下さい。比較的中率が高いのが分かります。値下りの場合も同じ考え方です。時間軸はチャートに「トレンドライン」を引いて予測しています。高値と高値、下値と下値を平行に引くことがポイントです。(1/21/2006・・・雪の日に)